

桜に想う ― 事務部長就任にあたって

事務部長 うえの ひでみ
上野 秀実

た多忙な日々を懐かしく思い出したのです。

一般的に病院の建て替えや大規模な改修は、30～40年間隔で行われます。その一大プロジェクトである移転新築を経験できためぐり合わせに感謝しました。

さて、一度目の病院勤務を終えて日本赤十字社静岡県支部へ帰任した平成23年に東日本大震災が起きました。ご存知のとおり多くの人命や家屋、財産が失われた未曾有の災害でしたが、その報道とともに絶望の淵に立ちながらも秩序を守ろうとする人々の姿が発信され、日本人の倫理的行動として世界の人々から尊敬を集めました。

米国人の日本文学研究者ドナルド・キーンさんの帰化は、この日本人への思いを契機とした行動でした。キーンさんは、国籍を取得して日本での永住を決意した理由を日本への感謝であると語っています。キーンさんの大好きな日本人の「心の美しさ」や「精神の美」は、日本人の精神の象徴といわれる桜の花言葉でもあります。



4月1日、病院の庭の桜が満開でした。赴任を迎えてくれたその桜を見ながら、ふと過去の思い出が感慨を伴ってよみがえりました。

当院への赴任は、今回で二度目です。一度目は旧浜松市高林にあった移転前の病院で、平成16年から21年までの5年間に会計課長、総務課長として勤務させていただきました。この間、当院にとっての歴史的事業ともいべき当地への移転新築に携わった経験は、その後の私にとって仕事上の大きな財産となっています。

当時は通常の仕事に加えて、資金計画や補助金申請などの手続きをはじめ関係方面への折衝などに多くの時間を費やしました。そして竣工後の開院から引越しまでの一連の工程を多くの方々を支えられながら乗り切っ

認定看護師の紹介

集中ケア認定看護師
救急病棟棟長
たかはし ひでき
高橋 栄樹



当院の集中ケア認定看護師を紹介します。

集中ケア認定看護師がどのような役割を担っているか、集中ケア認定看護師の高橋棟長（救急病棟）に質問をしました。

●集中ケアとはどのようなことをするのですか？

集中ケアとは、呼吸・循環など重大な機能障害に対して生命維持装置などを必要とする患者さんへ、専門的な知識と技術をもって回復を支援することです。また、病態の重症化や合併症の予防のための看護ケアも行います。

対象になる患者さんは、集中治療室にいる方が多いですが、重症化の予防という点では、一般病棟の患者さんでも対象となる場合があります。

●認定看護師としての役割を教えてください。また、どのようなことに心掛けてケアをしていますか？

集中ケアを必要とする患者さんに、専門性のある看護ケアの提供ができるようお手伝いするのが集中ケア認定看護師の役割です。

集中ケアを必要とする患者さんは、人工呼吸器などの医療機器を使用している方がいます。その場合、昼夜問わず行われる治療や機器のアラームなどにより非日常的な環境におかれていることが多くあります。患者さんの生命力・治癒力を最大限に活かせるように看護ケアを提供しながら、非日常性の中でも日常的な環境に近づけることができるように心掛けています。

●患者さんや患者さんのご家族へメッセージをお願いします。

対象となる患者さんとそのご家族は、身体的にも精神的にもストレスがかかっていると思います。専門的な知識と技術で回復へのお手伝いをする事で、少しでもストレスが軽減できるように関わっていきたくと思っていますのでよろしく願いいたします。

睡眠時無呼吸外来のご案内

当院では睡眠時無呼吸症候群を有する患者さんの高血圧・糖尿病・循環器疾患に対する総合的な診療管理を行っています

副院長・循環器内科部長 たわらはら けい
俵原 敬



睡眠時無呼吸症候群は、肥満でいびきがひどくて眠い病気だと思われがちですが、心臓と血管の病気の先触れかもしれません。そこで当院では、睡眠時無呼吸症候群に対する診断・治療と共に高血圧・糖尿病・心臓血管疾患の管理も併せて行っています。

睡眠の“やくわり”と睡眠時無呼吸症候群

睡眠は、肉体疲労の回復と脳の機能維持のために必要不可欠なものであり、記憶の定着にも重要な働きをしていると考えられています。「よりよく生きる」ことは、取りも直さず「よりよく眠る」ことであるとされています。1日の睡眠時間が7時間の人は、他の人たちに比べて死亡リスクが低いとされていますが、適正睡眠時間には年齢や個人差があります。

睡眠時無呼吸症候群とは、睡眠中に10秒間以上の呼吸停止が頻回に発生することにより、昼間の過眠などが生

じる病気です。睡眠時無呼吸症候群は、居眠り運転など交通事故に関係する病気であることはマスコミにも取り上げられてご存知の方も多いと思います。

この病気はいびきと昼間の眠気が症状としては有名ですが、重症の睡眠時無呼吸症候群の場合、高血圧や脳卒中、心房細動などの不整脈、心筋梗塞など心臓血管系に合併症を起こすことが問題です。心臓・血管の病気になった患者はもちろんのこと、予防のためにもこの病気の治療を必要とします。

睡眠時無呼吸症候群の診断方法

睡眠時無呼吸症候群の診断を行うための検査としては、ポリソムノグラフィーといった気流センサーや胸とお腹の呼吸運動センサーといった呼吸センサーのほか、脳波、眼球運動センサーといった睡眠センサーなど約10種

類のセンサーを付けて一晩入院して行う方法があります。その検査で1時間に30回以上無呼吸・低呼吸になった場合重症と判定します。ちなみに正常は5回以下です。

高血圧・心臓病と睡眠時無呼吸症候群

高血圧とは、簡単にいうと140/90 mmHg 以上に血圧が高いことをいいます。この値が高ければ高いほど、そして持続するほど脳出血などの脳卒中になり、腎機能低下、心臓・血管の病気を引き起こすこととなります。睡眠時無呼吸症候群は、高血圧患者に高頻度に認められ、特に早朝高血圧や治療抵抗性高血圧といって何種類もの高血圧の薬を飲まないと血圧が正常まで下がらない患者に多いといわれています。心房細動とは、心房に不規則な電氣的興奮が出現し、心房が収縮しない状態です。その時、頻脈（脈が急に速くなる）になり、動悸がしたりそれが長く続くと心不全になり呼吸が苦しくなったりしてきます。また大きな問題として、心房が収縮しないことにより心房内で血液が停留する場所ができ、そこに血栓といって血のかたまりができてしまいます。更に、それがはがれて血管内を流

いろいろな病気と睡眠時無呼吸症候群

その他には、睡眠時無呼吸症候群の患者は糖尿病の合併が多いとされ、睡眠時無呼吸症候群の治療をすると糖尿病までも改善するという報告もあります。また夜間頻

尿、胸やけ（逆流性食道炎）、早朝の頭痛とも関連していることがあります。



睡眠時無呼吸外来 金曜日午後（13時00分から15時00分）

事前に予約をお願いします。 電話：053-401-1111（代）

医療安全研修会「医療対話について」を開催しました

3月5日に、「医療対話について」という演題で、全職員を対象に医療安全研修会を開催しました。当院の医療ソーシャルワーカーが講師になり、ロールプレイで患者・医師・医療コーディネーター（医療対話推進者）の会話のやり取りを実演しながら、医療コーディネーターの役割について説明をしました。

患者と医療者の間には、それぞれの立場の違いから価値観の対立が生じてしまうことがあります。医療コーディネーターは、患者と医療者の解釈の「違い」を理解し、客観的に問題を眺めて、「違い」を相互に理解させる働きかけを行います。



医療コーディネーターを交えての対話の様子

医療コーディネーターは、医療者に代わって患者対応したり患者の代弁をしたりするのではなく、患者と医療者が向き合う場と対話を支援します。患者の心の声（見えない想い）を聴き、そして、患者と医療者の異なる認知を共通の認知へと導いていきます。

共通の認知を得て、良好な信頼関係が構築されることにより、患者は、安心して納得した医療を受けることができ、医療の質と安全性を向上させることができます。

< 研修会に参加して >

患者さんや家族にとって医療機関にかかるということとは不安なことです。全職員が日頃から患者さんとのコミュニケーションを大切に、少しでも不安を和らげていただくよう心掛ける必要があるということを感じました。もし、意見の食い違いが生じてしまった場合、客観視することを忘れず、冷静に患者さんの想いを聴き取るよう努めたいと思います。患者側と医療者側で共通の認知が得られない時、当事者同士で場を治めようとするのではなく、医療コーディネーターに相談して3者で解決に導く、信頼関係を構築するということを実行していきます。

職員H



平成27・28年度接遇向上標語が決定しました
『届けよう あなたの笑顔と やさしさを』



当院では、患者サービス推進委員会が中心となって、職員全員の接遇を向上させ、患者さんへのサービスを高めるために、職員から接遇向上標語の募集を行いました。多くの応募があり、その中からこれから2年間掲げる標語を『届けよう あなたの笑顔と やさしさを』に決定しました。

標語を作成した外来受付の小林愛さんは、「私たちがいつも笑顔でいることや、やさしく接することで、患者さんに来てよかった、また来たいと思っていただきたいという思いを込めて標語を考えました」と標語に込めた思いを話しました。

職員一人ひとりが接遇の重要性を認識し、接遇の向上のために取り組んでいきます。



標語を作成した外来受付の小林愛さん